



琥珀書房

電子書籍のみ発売！

尹紫遠全集

著者: 尹紫遠【著】 宋恵媛【編】

出版年月: 2022/12

eISBN: 9784910723402

ProductID: KP00073323

同時アクセス数1: 60,000円 (本体)

形式: PDF

<内容>

朝鮮「解放」前後の壮絶なる日本—朝鮮半島間の移動経験。

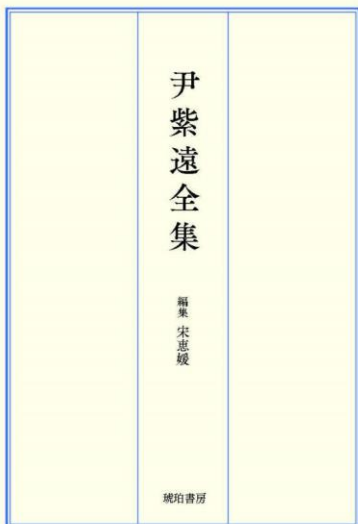
戦後を生きた在日一世の日記、初公開！

1945年以降に引かれた「朝鮮—日本」、
「北—南朝鮮」（38度線）という新たな2つの「境界線」を自らの足でこえた忘れられた在日朝鮮人作家の戦後日記から浮かぶ数多の経験と思い。

<著者紹介>

尹紫遠（本名：尹徳祚：ゆんとくちよ）

1911年、朝鮮半島蔚山に生まれる。幼い時に朝鮮総督府の土地調査事業により一家は土地を失う。書堂（漢文を中心とした私塾）と植民地下の初等教育を受ける。13歳の時、長兄を頼り単身横浜へ。1942年の時に自伝的短歌集『月陰山』を刊行。徴用を逃れるため1944年に朝鮮半島北部へ（現在の北朝鮮、松林市）。日本軍の武装解除のため米ソ軍の分割占領ラインとして引かれた38度線をこえ南朝鮮へ移動。「解放」後の混乱する南朝鮮を目の当たりにし、同時代の多くの朝鮮人がそうしたように日本への再渡航を決意。1946年に蔚山から日本へ「密航」。山口県にたどり着く。戦後日本で小説家を志す。1947年5月、金達寿、金元基、李殷直らとともに在日本朝鮮文学者会を結成し短期間であるが責任者を務める。東京にて朝鮮国際タイムス社勤務、行商などを経て、クリーニング店を妻と経営。戦後の著書に『38度線』（早川書房、1950年）がある。日韓国交樹立の前年、戦後は一度も故郷の土を踏むことなく、1964年に死去。混乱の時代に玄海灘に沈んだ朝鮮同胞の思いを胸に、死の間際まで自身の壮絶な越境の経験と、その背景になった時代状況を書こうとした。



<情報>

金素雲訳編『朝鮮詩集』（岩波文庫）の解説者として世に知られる、朝鮮人作家、尹紫遠（ユンジャウォン、1911-1964）。1942年、朝鮮人初の短歌集を刊行した人物でありながら、戦後の歩みはこれまで注目されたこともなく、その存在は今ではほとんど忘れ去られている。

日本出身の妻と暮らした尹紫遠の戦後の日記には、「密航」・親族離散・朝鮮人差別・生活苦・文化交流、そして戦後日本で在日朝鮮人が「書く」営みの困難さを伝える断片的記述に満ちていた。様々な在日朝鮮の人たちの声を拾ってきた研究者の解説とともに、日記は豊かに「在日」の経験を現代に語りだす。

1942年というまさに戦争の最中、金素雲の勧めもあり、「朝鮮最初の歌集」と銘打たれ、「魂の哀鴻史」と評された自伝的短歌集『月陰山』（タルウムサン）、1946年夏に発生した南朝鮮でのコレラの流行により強化された連合軍と日本による朝鮮人管理・海洋警備を背景に、玄海灘を命懸けで渡る人々を描いた「密航者の群」など、確認できる全ての作品・随筆・日記を揃えた『尹紫遠全集』の電子版（Kinoden）を刊行します。

全集末尾に、編者宋恵媛による全編解説付。

KinoDen搭載 在日韓国・朝鮮人関連書

NO	書影	著者	Product ID	出版社名	底本刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		書名	ISBN				内容紹介		
1		元省鎮	KP00060702	彩流社	199409	PDF	¥6,408	¥8,011	¥9,612
		ソウルの舗道にて	9784882023135	在日韓国人二世の著者が4年間の韓国生活で感じた異文化としての祖国、エキゾチズムとしての韓国体験をもとに、その屈折した心情と民族のアイデンティティ、日本人化する在日の現状を自らに問いかける思索的エッセイ。					
2		金正出	KP00067265	彩流社	202204	PDF	¥5,940	¥7,425	¥8,910
		二つの国、二つの文化を生きる 増補版	9784779128288	医療と教育事業に挑んだ「在日」医師の自伝！朝鮮人韓国人と日本人に問いかける著者の生き方とは？両親からの教えを胸に、在日として日本でいかに生きるかを自問し、苦闘しながら、医療、福祉、教育の各事業で成功した著者が、民族の矜持を持ち、二つの国、二つの文化を生きた実体験を赤裸々に語る。増補として、初版読者の感想、新しいあしがきを付した。					
3		文一倉	KP00071216	彩流社	202208	PDF	¥6,600	¥8,250	¥9,900
		在日二世から見た日本と韓国	9784779128455	本書は、植民地時代という苦難と激動の時代に日本に渡ってきた在日一世代の子として、著者の波乱の人生やビジネスでの実体験を通じての独特な視点で、在日二世が育った時代とその生き様や、日本や韓国そして在日の世界を語り、辛口も交えながらも、未来に向かって日本と韓国、そして若い在日世代へ思いを記した異色の書である。〔写真多数収録〕					
4		成律子	KP00060701	彩流社	199407	PDF	¥5,768	¥7,210	¥8,652
		オモニの海峡	9784882023111	日本の植民地支配、アメリカ軍の圧政、そして今なお謎の残る四・三抗争。この抗争で最愛の夫を失いながらも、愛する者たちを守るため、海峡を挟んでたたかった、一世ハルモニの苦難の人生の記録。					
5		徐京植	KP00014413	平凡社	201201	EPUBリフォ	¥3,080	-	¥4,620
		在日朝鮮人ってどんなひと？	9784582835557	現代社会の情報過剰で全体像がとらえにくい問題を、テーマごとにまるまる一冊、中学生目線の素朴な疑問に第一人者が答える形でひも解いてゆくシリーズ。第一弾は「在日朝鮮人」を知る！					
6		斉藤弘子	KP00060831	彩流社	199411	PDF	¥5,768	¥7,210	¥8,652
		韓国系日本人	9784882023234	横浜・寿町で外国人労働者を支援する平間正子は、「マリア」の洗礼名で慕われる在日韓国人。日本支配下の済州島で育ち、密入国の末に日本人と結婚。苦しい生活と差別の中で社会運動に目覚める一人の女性の軌跡を通して見る日韓の歴史。					
7		李里花【編著】	KP00043416	明石書店	202101	PDF	-	¥5,280	-
		朝鮮籍とは何か	9784750350790	朝鮮籍とは、植民地期朝鮮から日本に「移住した」朝鮮人とその子孫を分類するために、戦後の日本で創り出されたカテゴリーである。本書は、朝鮮籍をめぐる歴史の変遷をたどりながら、朝鮮籍の人が直面したリアリティにも焦点を当てることで、その実像に迫ろうとするものである。					
8		松下佳弘	KP00033519	六花出版	202010	PDF	¥4,400	¥4,950	¥5,500
		朝鮮人学校の子どもたち	9784866171036	本書は、一九四五年の敗戦から一九五五年までの時期を対象に、在日朝鮮人の学校教育を規定してきた行政の特徴を、占領軍・日本政府・地方自治体そして朝鮮人団体など様々な主体の認識や交渉過程に即して解明するものである。					
9		木村健二 李盛煥 宮本正明【編著】	KP00019496	日本経済評論社	201902	PDF	¥6,930	-	¥10,395
		近代朝鮮の境界を越えた人びと	9784818825192	戦争・植民地支配が引き起こした朝鮮人・日本人の越境の経験。人びとはどのように移動、定着、帰還、残留したのか。歴史的意義とその後を、ライフヒストリーや集団の動向に即し検討。					
10		金哲【著】渡辺直紀【訳】	KP00014454	平凡社	201703	EPUBリフォ	¥6,160	-	¥9,240
		植民地の腹話術師たち	9784582837544	日本の植民地下にあった時代に朝鮮近代文学は生まれた。日本語とハングルとの格闘を通して作品を書いた文学者——腹話術師たちの活動に豊富な引用で光を当てる、ユニークな試み！					
11		梁石日	KP00014209	平凡社	199901	EPUB(固定)	¥2,640	-	¥3,960
		アジア的身体	9784582762754	在日朝鮮人文学、日本文化の閉鎖性、差別と身体等々のテーマを、アジアや第三世界の視座から捉えたエッセイ集。著者の文学世界をより深く理解するための一冊。解説＝馳星周					
12		李光洙【著】波田野節子【訳】	KP00032456	平凡社	202006	EPUBリフォ	¥3,960	-	¥5,940
		無情	9784582769043	朝鮮近代文学の祖と言われるも、解放後「親日」と糾弾され消息不明となった李光洙。日本統治下の人々と社会をつぶさに描き、旧世界への危機感を喚起した傑作、ついに文庫化！〔ムジョン〕は「無情」の韓国語読み					

■ タイトルリストはこちら⇒



https://kinoden.kinokuniya.co.jp/product/img/KD0443_list.xlsx

紀伊國屋書店 デジタル情報営業部 TEL:03-6910-0518

〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10 ict_ebook@kinokuniya.co.jp

* 上記はカタログ作成時の情報です。価格等は予告なく変更となる場合がございます。